

科学研究費助成事業 研究成果報告書

令和 5 年 6 月 13 日現在

機関番号：32511

研究種目：基盤研究(C)（一般）

研究期間：2019～2022

課題番号：19K00274

研究課題名（和文）在村医の展開からみた地域医療研究～岡山県下の医家資料をもとに～

研究課題名（英文）Research on Community Medicine from the Perspective of the Development of Village Doctors: Based on the Documents of Doctors' Families in Okayama Prefecture

研究代表者

松村 紀明 (Matsumura, Noriaki)

帝京平成大学・ヒューマンケア学部・准教授

研究者番号：00422379

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 3,300,000円

研究成果の概要（和文）：岡山県下のいくつかの在村医家所蔵の史料の調査を行った。瀬戸内市（旧長船町）平井家については、新たに発見された未調査の史料について撮影を完了しその画像を精査しながら新たな蔵書目録の完成にこぎつけ、典型的な在村医の蔵書・文書であることが判明した。そして同蔵書目録ならびに平井家やその医療活動についての論考を収録した「中島医家資料研究」第1巻第3号を2023年3月に刊行した。

岡山市（旧建部町）吉岡家については、調査結果を精査・整理中で2023年度中には蔵書目録ならびに論考を発表できる見込みである。

以上から明治初期、岡山県下の在村医たちが連携し大規模な種痘活動を行っていたことも明らかになった。

研究成果の学術的意義や社会的意義

在村医家の所蔵資料調査により、近世から近代の地域社会において医療を支えた在村医たちの活動は多岐・広範に及ぶことが明らかになった。

例えば、難波経直が中心となった民間医たちによる「救助種痘」「種痘勸善社」には、明治17年の解散まで200名を超える種痘医が継続的に参加し、岡山全県下で無料の種痘接種を実施した。それ以外にも地域内の在村医たちは研究会を開くなど相互に連携し自主的な活動していたことが明らかになった。

この時期の医師たちの活動は藩・県・政府の指示下での受動的なものではなく、かなり能動的なものであったことを示しており、近代医療システム構築過程に対する認識の再検討を迫るものであろう。

研究成果の概要（英文）： The outline and purpose of this project is to investigate medical records, medical books, and equipment of village doctors' families in Okayama Prefecture. For the Hirai family's materials in Setouchi City, newly discovered historical materials were photographed. And the catalog of the historical materials(library collection) was completed. It was found that the collection is typical of the library and documents of village doctors. In March 2023, we published "NakaShima Ika Shiryo Kenkyu" Vol.1, No.3, which includes this catalog and a discussion of the Hirai family and their medical activities.

We are currently organizing the results of our research on the Yoshioka family's materials in Okayama City, and expect to publish a catalog and discussion of the collection by the end of 2023.

It was also revealed that in the early Meiji period, village doctors in Okayama Prefecture were collaborating in large-scale vaccination activities.

研究分野：科学社会学および科学技術史関連

キーワード：在村医 地域医療 開業医 岡山県 医療史 平井家 種痘

様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19 (共通)

1. 研究開始当初の背景

一般的に、現在の日本の医療制度の特徴として、1)国民皆保険 2)フリーアクセス 3)開業の自由 4)民間医療機関中心の医療提供体制の4つが挙げられる。このなかの2)~4)を分かりやすく言えば、医師はどこでも自由に開業することができ、その医師により運営される民間医療機関によって日本の医療の主たる部分は支えられており、患者(国民)はそれらに自由にアクセスできる、ということである。そして、その民間医療機関は第二次大戦終結までは個人医師が経営する小規模病院ないしは診療所であった。

近現代の日本の医療を考える上で個人医師=開業医という視点は必要不可欠なのであるが、布施昌一『医師の歴史 その日本的特長』1979年によれば、「日本の医師・医業の特色としての開業医制度は、江戸時代に十全の発達を遂げ」「そのまま明治以降の近代日本に受け入れられて、徳川開業医体制=日本開業医体制=日本医療体制の図式となっていく」。つまり、現在の日本の医療制度の特徴である個人医師=開業医は江戸時代にそのルーツがあると言えるのであり、その特徴・性質を歴史的な視点から明らかにすることは、現在日本の医療制度の特徴を歴史的に明らかにすることでもあると言える。

2. 研究の目的

次の2つの歴史的な視点から日本の地域医療の特徴を解明するのが目的である。

・近世から近代(特に幕末から明治初期)の地域社会(特に岡山県)において、その地域の医療を支えた「在村医」の活動内容や地域内での役割はどのようなものであったのか。

・それらは時代の流れとともに(特に明治維新前後)どのように変遷していったのか。

以上の問題を、岡山県瀬戸内市の中島家に加え周辺の未調査の医家に所蔵されている医療記録・医療書籍・器機類などに基づいて明らかにする。

3. 研究の方法

詳しい調査が行われていない岡山県下の在村医家として次のようなものがある。

・瀬戸内市(旧長船町)の平井家:平井秀策(1818~1878)がおり、邑久郡福岡村の開業医、中島友玄と共に種痘を行い、「種痘諸事留」で除痘館設立に名を連ねている。

・岡山市(旧建部町)の吉岡家:吉岡寛斎(1833~1908)は建部町福渡の在村医、賀川流産科を学ぶ。

・備前市の佐藤家:佐藤陶崖(1785~1843)がおり、備前市伊部の在村医、家伝薬を製造し庄屋や備前焼の陶工や文人としても活躍した。

ほか、本家・難波家(岡山市:旧御津町)、内田家(井原市)、佐藤家(備前市)など

以前から調査している瀬戸内市の中島家に加えこれらの医家にどのような医療記録・医療書籍・器機類などの資料が残されているのかを調査し、その全貌を解明し、必要に応じて目録も作成する。

4．研究成果

大変遺憾ながら Covid-19 感染拡大の影響により、本研究プロジェクトの期間中の現地調査(岡山県の在村医家の資料を所蔵している民家の調査)の実施には大きな支障をきたした。しかしながら、瀬戸内市(旧長船町)平井家については、新たに発見された未調査の史料(ダンボール2箱分)について撮影を完了し、その画像を精査しながら蔵書目録の完成にこぎつけた。これにより、同家の所蔵資料は、江戸期から明治期にかけての、年貢関係・土地関係・金銭貸借関係に加え、他の医師などとの手紙類・処方記録・患者名簿・漢方医書・漢詩文関係書・読み物類・医学講義ノート・医療行政関係などによって構成される、典型的な在村医の蔵書・文書であることが判明した。そして同蔵書目録ならびに平井家やその医療活動についての論考を収録した「中島医家資料研究第1巻第3号」を2023年3月に刊行することができた。

岡山市(旧建部町)吉岡家については、これまでの調査結果を精査・整理中であり、2023年度中には蔵書目録ならびに論考を発表できる見込みである。

これらの在村医家の所蔵資料調査により、近世から近代の地域社会において医療を支えた在村医たちの活動は多岐・広範に及ぶことが明らかになった。例えば、難波経直が中心となった民間医たちによる「救助種痘」「種痘勸善社」には、明治17年の解散まで200名を超える種痘医が継続的に参加し、岡山全県下で無料の種痘接種を実施した。それ以外にも地域内の在村医たちは研究会を開くなど相互に連携し自主的な活動していたことが明らかになった。

この時期の医師たちの活動は藩・県・政府の指示下での受動的なものではなく、かなり能動的なものであったことを示しており、近代医療システム構築過程に対する認識の再検討を迫るものであろう。

遺憾ながら、当初の研究計画で予定していた本家・難波家(岡山市:旧御津町)、内田家(井原市)、佐藤家(備前市)については、Covid-19の蔓延により十分な現地調査が実施できず予備調査の段階に留まってしまったが、特に佐藤家の所蔵資料は同家から備前市教育委員会に移動・保管されているので、同家の調査は次の科研プロジェクトの課題としている。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計11件（うち査読付論文 3件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 0件）

1. 著者名 松村紀明	4. 巻 67
2. 論文標題 民間医たちのつくりあげた種痘ネットワーク	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 日本医史学雑誌	6. 最初と最後の頁 332-335
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 町泉寿郎	4. 巻 67
2. 論文標題 中国医学における流行性感染症に関する史料の紹介	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 日本医史学雑誌	6. 最初と最後の頁 348-351
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 木下浩	4. 巻 10月号
2. 論文標題 医学史と民俗学の交差するところから流行り病、疫病を考える	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 子どもの文化	6. 最初と最後の頁 15-23
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 木下浩	4. 巻 159号
2. 論文標題 明石退蔵	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 きび野	6. 最初と最後の頁 4
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 木下浩	4. 巻 160号
2. 論文標題 平井武策	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 きび野	6. 最初と最後の頁 4
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 松村紀明	4. 巻 67巻1号
2. 論文標題 明治種痘の研究～補完する種痘積善社と対立する種痘勸善社～	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 日本医史学雑誌	6. 最初と最後の頁 3-15
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 松村紀明	4. 巻 -
2. 論文標題 「種痘二関スル医師ト県官ノ問答」・「種痘規則書」(史料翻刻)	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 史料・西日本の種痘	6. 最初と最後の頁 3-13
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 松村紀明	4. 巻 1巻3号
2. 論文標題 在村医家としての平井家	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 中島医家資料研究(中島醫家資料研究)	6. 最初と最後の頁 22-27
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 松村紀明	4. 巻 68巻3号
2. 論文標題 明治初期岡山の種痘活動(救助種痘)関連の新出史料	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 日本医史学雑誌	6. 最初と最後の頁 243-245
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 平崎真右	4. 巻 1巻3号
2. 論文標題 平井家の系譜 -位牌・墓所調査からの再検証-	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 中島医家資料研究(中島醫家資料研究)	6. 最初と最後の頁 3-21
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 ヴィグル・マティアス、町泉寿郎	4. 巻 68巻4号
2. 論文標題 翻刻『鍼灸施治姓名録』 -専門医家中島家の第四世にあたる中島友玄の鍼灸臨床の記録-	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 日本医史学雑誌	6. 最初と最後の頁 369-393
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計9件（うち招待講演 6件 / うち国際学会 0件）

1. 発表者名 松村紀明
2. 発表標題 牛痘種痘法の輸入 近代的な医療システムの夜明け
3. 学会等名 明治大学リバティアカデミー2021年度秋季講座（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 木下浩
2. 発表標題 明治12年における岡山のコレラ流行と木野山信仰
3. 学会等名 第122回日本医史学会総会・学術大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 鈴木達彦
2. 発表標題 田代家の医業について
3. 学会等名 第122回日本医史学会総会・学術大会（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 木下浩
2. 発表標題 明治12年のコレラ流行と木野山様の勧請について
3. 学会等名 令和2年度岡山医学史研究会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 松村紀明
2. 発表標題 明治種痘の研究～明治4年の種痘局規則を巡って
3. 学会等名 UTCPシンポジウム Living with the World 世界との共生（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 木下浩
2. 発表標題 明治12年コレラ流行下の庶民の治療選択～なぜ人々は神様にすがることか～
3. 学会等名 UTCPシンポジウム Living with the World 世界との共生（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 松村紀明
2. 発表標題 難波経直（立憲）と岡山県の対立からみた明治初期の種痘
3. 学会等名 日本医史学会3月例会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 松村紀明
2. 発表標題 牛痘種痘法の輸入 近代的な医療システムの夜明け
3. 学会等名 明治大学リバティアカデミー2022年度秋季講座 『新たな視点から読み解く医学・医療の歴史』（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 松村紀明
2. 発表標題 第28回富士川游学術奨励賞 受賞記念講演「明治初期の種痘再考-岡山と千葉の比較から」
3. 学会等名 日本医史学会 月例会（招待講演）
4. 発表年 2023年

〔図書〕 計8件

1. 著者名 編集：町泉寿郎、執筆：町泉寿郎ほか	4. 発行年 2021年
2. 出版社 汲古書院	5. 総ページ数 420
3. 書名 レオン・ド・ロニーと19世紀欧州東洋学 旧蔵漢籍の目録と研究	

1. 著者名 監修：洋学史学会、編集：青木歳幸、海原亮、沓澤宣賢、佐藤賢一、イサベル・田中・ファンダーレン、松方冬子、執筆：松村紀明ほか	4. 発行年 2021年
2. 出版社 思文閣出版	5. 総ページ数 516
3. 書名 洋学史研究事典	

1. 著者名 編集：日本科学史学会、編集委員長：斎藤憲、編集幹事：伊藤和行、佐野正博、杉本舞、橋本毅彦、林真理、執筆：松村紀明ほか	4. 発行年 2021年
2. 出版社 丸善出版	5. 総ページ数 726
3. 書名 科学史事典	

1. 著者名 編集：落合知子、執筆：木下浩、松村紀明ほか	4. 発行年 2021年
2. 出版社 雄山閣	5. 総ページ数 340
3. 書名 医歯薬学系博物館事典	

1. 著者名 編集：東アジア怪異学会、執筆：木下浩ほか	4. 発行年 2021年
2. 出版社 勉誠出版	5. 総ページ数 445
3. 書名 怪異学講義	

1. 著者名 青木歳幸・W.ミヒエル（編）	4. 発行年 2021年
2. 出版社 岩田書院	5. 総ページ数 372
3. 書名 天然痘との闘い 西日本の種痘	

1. 著者名 一般財団法人 中島医家資料館	4. 発行年 2023年
2. 出版社 一般財団法人 中島医家資料館	5. 総ページ数 72
3. 書名 中島医家資料研究(中島医家資料研究)1巻3号	

1. 著者名 青木歳幸・W.ミヒエル（編）	4. 発行年 2023年
2. 出版社 岩田書院	5. 総ページ数 384
3. 書名 天然痘との闘い 東日本の種痘	

〔産業財産権〕

〔その他〕

中島医家資料館（中島医家資料館）
<http://nakashima-ika.jpn.org>

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	町 泉寿郎 (Machi Senjuro) (40301733)	二松學舎大學・文学部・教授 (32664)	
研究分担者	木下 浩 (Kinoshita Hiroshi) (50838092)	岡山大学・医学部・客員研究員 (15301)	
研究分担者	梶谷 真司 (Kajitani Shinji) (50365920)	東京大学・大学院総合文化研究科・教授 (12601)	
研究分担者	鈴木 達彦 (Suzuki Tatsuhiko) (70737824)	帝京平成大学・薬学部・准教授 (32511)	

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究協力者	清水 信子 (Shimizu Nobuko) (80445709)	公益財団法人東洋文庫・研究部・研究員 (72622)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究協力者	平崎 真右 (Hirasaki Shinsuke)		

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関